

私と図書館

本学図書館を振り返って ～1999年から現在まで～

図書館情報センター次長 足立 祐輔



第9代佐野館長から、第14代二宮館長までの本学図書館の主な出来事について、振り返ってみようと思います。

佐野勝次館長(1998年/4月～2001年/3月)の時の1999年(平成11年)に、9年ぶりに日進の附属図書館(当時)に戻ってきました。第10代黒部通善館長(2001/4～2006/3)の際には、2002年に私立大学図書館協会総会・研究大会を日進キャンパスにて開催。同年に本学・中部大学・南山大学の3大学5図書館による図書館共同利用(CAN私立大学コンソーシアム)開始。2003年に、司書・司書講習開講50年記念講演会・祝賀会を名古屋ガーデンパレスにおいて開催。2004年に開学50年記念事業として図書館情報センター新館完成。この時に、近隣(名古屋市名東区・日進市・長久手市)の一般市民に、はじめて図書館開放を実施しました。

第11代大野榮人館長(2006/4～2010/3:前学長)の際には、2006年に、当時の全蔵書約63万冊の蔵書点検と約22万冊の未入力データを入力。2008年に私立大学図書館協会西地区部会総会を日進キャンパスにて開催。第12代竇多國弘館長(2010/4～2014/3)の際には、2011年にCAN私立大学コンソーシアム10周年記念として、3大学4図書館館長ミニ講演会を中部大学において開催。2013年10月、本館1階閲覧室を全面改修して、現在図書館で最も人気施設になっているラーニング・commonsを開設しました。

竇多館長と第13代白石浩之館長(2014/4～2016/3)のときに、本学が私立大学図書館協会西地区部会長校就任(2013・14年)しました。白石館長の後、現在の二宮克美館長が、2016年4月に就任し、図書館の活性化に取り組みられ今に至っています。

その他にも、視聴覚学習センターの改修工事、名城公園キャンパス分館の開館準備、旧書庫の耐震工事、佛教図書館協会総会および研修会の開催、図書館システムの更新作業など様々なことがありました。思い起こせば、私にとっては、怒涛のような18年でした。20年近くに渡って、このような事業に取り組みたことは、歴代の館長の思いと、愛知学院大学の図書館で働いて来られた皆さんの力があってこそだと思います。歴代の館長と職員・スタッフの皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。今後も、さらに素敵な図書館になることを期待してやみません。